

## 「5・3憲法集会 in いわて」メッセージ

「5・3憲法集会 in いわて」の御盛会をお祝い申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、そしてイスラエルとハマスによる軍事衝突。国際連合の不戦の理念を形にするための国際的な努力が求められている今、私たちは改めて個人の尊厳や生命、自由、幸福追求という基本的人権の原点を大切にしなければなりません。

こうした中、改めて日本国憲法について、学び、守る決意を新たにすることは、極めて意義深く、本日の集会がこれまで以上に実り多いものになりますよう期待いたします。

2024年5月3日

岩手県知事

遠増拓也

## お祝いのメッセージ

「5・3憲法集会 in いわて」の御盛会を祝し、心よりお慶び申し上げます。

無事に本会を開催できますことを改めてお祝い申し上げますとともに、開催にあたり準備に御尽力された本会関係者の皆様に感謝申し上げます。

今般、平和と安全を著しく損なう出来事が国際社会で頻発しております。このような状況において、本会の活動は、人権が危機に瀕している現実と向き合うとともに、個人の尊厳が尊重され、一人ひとりの権利が損なわれることの無い世界の実現に繋がる意義のあるものと存じます。

本町におきましても、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を原則とする日本国憲法を暮らしに生かし、町民誰もが権利を損なわれること無く、健康で安心して暮らすことができるまちづくりを引き続き進めてまいりますので、今後とも御指導・御鞭撻を賜りたいと存じます。

本会が開催目的を達成され、盛会のうちに終了できますことを心からお祈り申し上げます、お祝いのメッセージとさせていただきます。

令和6年5月3日

矢巾町長 高橋 昌造

「5・3 憲法集会 in いわて」 大槌町長メッセージ

「5・3 憲法集会 in いわて」が開催されるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

長きにわたり、住民福祉の向上と世界平和実現のためにお力を尽くされてこられた関係皆様に深く敬意を表します。

当町でも、人類共通の念願である世界の恒久平和に向け、将来ともに非核三原則が遵守され、また、あらゆる国の核兵器の廃絶と軍縮が強く推進されることを強く希求し、平成7年に「非核平和の町」を宣言しております。

時代が移り変わり、戦争体験者が年々減少する中、現代を生きる私たち一人ひとりが、平和の尊さを次の世代にしつかりと伝えていくことが重要な責務であると考え、今後も、誰もが安全で安心して暮せる町の実現を目指してまいります。

結びに、ご参会の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げ、メッセージといたします。

令和6年5月3日

大槌町長 平野公三

## メッセージ

今、日本は新しい戦前に向かおうとしています。

岸田政権は、「安保三文書」を閣議決定し、軍需産業の育成・武器輸出をはじめ、学術研究や民間空港・港湾の軍事利用化の強行、教育やメディアなどあらゆる分野で軍事化を進め、国民に知られないように、言論、思想の統制も着々と行っています。

ついに日本は「専守防衛」を投げ捨て、アメリカとともに戦争する国へとまさに歴史的な変貌を遂げようとしています。軍事費の増大は、年金や医療・介護、子育て・教育など暮らしやいのちのための予算の削減を意味します。

「武力で平和はつukれない」これは人類の歴史の教訓です。「抑止力」の名の下、軍事力の増強は近隣諸国と果てしない軍拡競争となり、結局は「核武装」に行きついてしまうことを過去の戦争から学んだはずです。

歴史は繰り返すと言われますが、何故、繰り返してしまうのでしょうか。それは、過去の大事な歴史認識を時の政府によって眠らされるからと言われています。

先の大戦もフクシマの原発事故も感染症拡大もまるで遠い昔の、どこか別の国の出来事であるかのように錯覚させ、都合の悪いことへは目を向けさせず、「日常の経済」を取り戻す事を優先させるという記憶の操作が国を挙げて行われている事に、もう、騙されてはなりません。

二度と戦争はしない、非武装の平和な日本を創る、その決意の中で憲法9条は生まれました。350万人にも及ぶ戦場に送られた若い兵士たち、原爆や空襲、沖縄戦の犠牲者たち、そして何よりも2千万人を超える日本の侵略で亡くなった方たちの声を代弁する責任が私たちにはあるのです。

世論は、「戦争は嫌だけれど仕方がない」「戦争は良くないが、丸腰では戦えない」という風潮が強まっています。「誰が何のために戦争をするのか」「戦争とはどのようにして起こるのか」または「どのようにして起こすのか」いま一度、見つめ直そうではありませんか。

私たちがめざすのは、非武装・非同盟の日本であり、憲法のもと、生活といのちが最優先される平和国家への道です。9条を守る事こそが「国益」です。

ここに日本のすべての平和力が結集し、ともに立ち上がることを呼び掛けます！

外交と交流の信頼関係で東アジアの平和を共に創っていきましょう！！

2024年5月3日  
社会民主党岩手県連合  
代表 木村 幸弘

